



九州大会に出場する前列右から馬場さん、西さん、後列右から中原さん、坂本さん、野田さん、山崎さん

チームプレーで九州大会へ

グラウンド・ゴルフで町身障連チーム

9月11日、第7回熊本県障がい者グラウンド・ゴルフ大会が芦北町で開かれ、益城町チームが準優勝に輝きました。

大会には県内60チーム、490人が出場。本町からは、町身障連会長の馬場孝^{ば ぼ たかし}さん(市ノ後団地)、野田正徳^{の だ せいとく}さん(市ノ後)、西静雄^{にしず お}さん(辻団地)、坂本剛士^{さかもと つよし}さん(市ノ後団地)、中原俊一^{なかはら としかず}さん(南)、山崎義弘^{やまさき よしひろ}さん(南)が出場し見事なチームプレーを披露しました。

11月4・5日に鹿児島市で開かれる九州大会に出場する同チームは、「九州大会でも良い成績を修めたい」とはりきっていました。

9月18日、福岡県で行われた第17回九州クラブチームサッカー選手権大会に町内のサッカーチーム「益城ビッグウェーブ」(水口浩介^{みずぐち こうすけ}監督)が、4回目の出場で、見事初優勝し、来る10月30日から新潟県で行われる第17回全国クラブチームサッカー選手権大会への出場権を獲得しました。

選手たちは、週3回の練習時にジュニアチームの指導も行っており、大会当日のジュニアチームの子どもたちの応援が大きな力になったとのこと。町長が、「益城から世界の選手を輩出できるように、町民あげて応援します」と激励すると、「応援してくれる人たちの恩返しの意味も込めて、出場するからには勝ちたい。田舎のチームでも、全国の頂点が目指せることを示し、子どもたちに夢を与えたい」と水口監督は闘志を漲^{もよほ}らせていました。

大きく育て!!

津森小児童がウナギの稚魚を放流

9月15日、津森小学校の横を流れる木山川で、同校4年生児童13人が、ウナギの稚魚^{さか}を放流しました。これは、緑川漁業協同組合(坂本猛^{もとたけし}組合長)の協力で毎年、緑川水系にある小学校や保育所・幼稚園で行われているものです。

この日は、ウナギの稚魚40kg、約4,000匹が同漁協で用意され、バケツに分けられたあと、子どもたち一人ひとりに手渡されました。

最初はヌルヌルと指先から逃げ出すウナギに悪戦苦闘の子どもたちでしたが、慣れてくると上手に一匹一匹を放流していました。子どもたちからは「とても良い経験ができた」「大きく育てほしい」と笑顔がこぼれていました。



ウナギの稚魚を放流する子どもたち



頂点目指し全国大会へ!!

益城ビッグウェーブ



7年ぶり4回目の九州大会出場で、悲願の初優勝を果たした益城ビッグウェーブの選手達